

# ユジュ 2012年 夏

平成24年7月30日発行（第14号）

## ユジュ

「YUJ」とは「瑜伽」とも書き、サンスクリット語で、「結ぶ、繋ぐ」を意味します。

YUJを手にとった方とお寺が良い縁で結ばれますよう。

<http://www.kagawa-konzouji.or.jp/yuj@kagawa-konzouji.or.jp>



大きく見開かれた右目に堅く結んだ口、右手には剣、左手に繩。背には大きな火炎。およそ仏さまとは思えない恐ろしい形相をされた不動明王ですが、観世音菩薩や地藏菩薩と共に、古くより多くの信仰を集めてきた仏

### 不動明王の登場

# 信 不 動 仰

異形の尊格不動明王  
その信仰の歴史と広がり

誤った道に進もうとする人を捕まえて叱りとばし、仏道に導く忿怒の仏さまになりました。こうして、不動明王は大日如来が人々を導くための仮の姿であると考えられるようになります。不動明王の本名はアチャラ

さまでもあります。不動明王のもつとも古い姿は『不空罽索神変真言経』に説かれるもので、ここでは「不動使者」と呼ばれ、大日如来の召使いとして扱われ、少々肥えた少年の姿で描かれていました。しかし、不動明王は次第にその姿を変え、人々に襲いかかる迷いや障害を打ち払い、時には

か、同時に手の届かない存在です。一方、山は私たちに直接恵みをもたらす存在ですが、時には荒々しい姿で私たちに襲いかかることもあります。人々は、太陽が日暮れと共に山の端に消え入る様を、大日如来が不動明王へと変化する姿に重ね合わせ、その信仰を深めていったのではないのでしょうか。

ナータといい、「動かない守護者」を意味します。またインドでアチャラは山を意味することから、不動明王は山の神でもあるわけです。一方、大日如来は太陽を象徴します。太陽はあらゆる生命の源ですが、同時に手の届かない存在です。一方、山は私たちに直接恵みをもたらす存在ですが、時には荒々しい姿で私たちに襲いかかることもあります。人々は、太陽が日暮れと共に山の端に消え入る様を、大日如来が不動明王へと変化する姿に重ね合わせ、その信仰を深めていったのではないのでしょうか。



不動明王立像（伝 智証大師作）

## 弘法大師と波切不動

さて、密教の尊像である不動明王が日本にもたらされたのはいつ頃でしょうか。それが密教を日本にもたらした弘法大師に依るものであることは、想像に難くありません。

弘法大師が唐に渡り、多くの密教経典とともに、帰朝したのが大同元年（八〇六）十月のことです。この時請来したものの中に、不動明王について書かれた経典、並びに不動明王が描かれた両部曼荼羅も含まれていました。また弘法大師は自ら刻んだ不動明王立像を持ち帰ったといわれています。それが現在高野山南院にある波切不動尊です。

帰朝後、波切不動尊は神護寺に安置され、次いで醍醐寺に遷されました。平将門の乱では尾張の熱田神宮へと遷され、将門の降伏を祈祷されました。その後高野山へと遷され、現在の南院に落ち着きましたが、蒙古襲来の時にはまたまた九州に遷され、外敵退散の祈祷を行うなど、その効験によつて国難を免れたといわれています。

しかしこれらの話は弘法大師由来の波切不動尊の靈驗譚であり、弘法大師の不動信仰ではありません。たしかに弘法大師は早くから不動明王に着目し、その修行法を指南した著作を残しました。しかし、弘法大師が不動明王を祈祷し効験があつたという話は残つておらず不動信仰を伝えたとはいえません。一方で、より積極的に不動法を實踐し、不動信仰を確立したのは、弘法大師の甥である智証大師でありました。

## 智証大師と金色不動

智証大師と不動明王の最初の出会いは、智証大師が比叡山の山中にて十二年の籠山修行五年目の冬のことでした。

石室で座禅をしていた智証大師の前に突然金色に輝く異形の人が現れ、「私の姿を図画し、丁寧（ていねい）に拝みなさい」と言いました。智証大師が「あなたはどなたですか？」と尋ねると、「私は金色不動明王である。あなたの人格が極めて高く仏法を尊ぶ心が深いため、私はあなたを守護しましょう。急いで密教を究め人々を導きなさい。」と答えました。智証大師はすぐに画工の空光に命じて図画させ、朝夕に礼拝したそうです。この尊像が三井寺に伝わる「不動明王像（黄不動尊）」と言われています。

心に不動明王を念じました。すると金色不動明王が現れ、たちまち東風がおこり、翌日には唐に渡ることができました。さらに、長安へ向かつていた智証大師が道中病床に臥す身となり、徐直（じょちやく）という信者の家で養生することになりました。熱心に看病していた徐直が、ある夜智証大師の枕元に金人が立つており、不思議に思ったそうです。この金人とはもちろん金色不動明王で、それから智証大師の体調はみるみる回復したそうです。このように智証大師は危機に直面するたびに、不動明王に祈り、その靈験により危機を乗り越えてきました。これらの記録は最も古い不動明王の靈驗譚であり、不動信仰の先駆者は智証大師である、といえるのではないのでしょうか。後世、智証門流から多くのすぐれた不動行者が輩出されたのも、こういった事情からであったのでしよう。

## 無動寺の相応和尚

比叡山にはもう一人有名な不動行者がいます。それが無動寺の相応和尚であり、比叡山三大地獄（修行）の一つ「千日回峰行」の始祖でもあります。相応和尚は、もともと葛川の行者として、穀を絶ち塩を絶ち、世の美味を厭って、ついに瀑流の水を逆流させる程の験力を得るほどの人物でした。

ある時、相応和尚が葛川で不動明王の姿を心に念じていると、不動明王が姿を現しました。相応和尚は不動明王に弥勒菩薩に会わせて欲しいと願うと、不動明王は弥勒菩薩が住す兜率天の内院へと案内してくれました。しかし、門を護る天人に「法華経を読み四種三昧を修行していない者を入れるわけにはいかない。」と断られたことから、以後、法華経を読み信仰するようになったそうです。

こうして相応和尚は比叡山と関係するようになるのですが、

それ以前より相応和尚は山岳で修行をする修験行者であったこと、そして不動明王を信仰していたことが分かります。

修験道とは、日本古来の山岳信仰が仏教に取り入れられたもので、種々の仏菩薩、神格が崇拜対象となります。その中でも不動明王に対する信仰は絶大なもので、ほとんどの修行や祈祷の本尊は不動明王となります。

最初に触れたように、不動明王はそもそも山を象徴する尊格であり、山中で修行する修験行者にとつて、山そのものである不動明王が本尊となるのは当然のことといえます。修験行者が民衆のために祈祷するうちに、不動明王も民衆へ浸透したことでしよう。次に紹介する「泣不動縁起」は、そのさまを反映した説話といえるのではないでしょうか。

## 泣不動縁起

昔三井寺に智興上人という高僧がおりましたが、当時の医術では治すことができない難病にかかってしまいました。そこで同じく高名であった陰陽師の安倍晴明に祈祷を依頼すると、「治療するには自分の命を捧げてもいいという身代の者が必要である」と答えました。

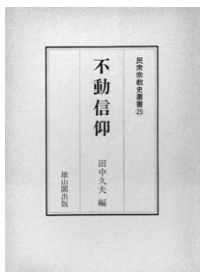
その話を聞いた証空は、師匠のためならと名乗り出ました。そのことに感銘を受けた安倍晴明によって直ちに難病平癒の祈祷が行われ、智興上人の病もまもなく快方に向かいました。

そのころ証空は全身耐えがたい苦痛のため、たまらず床を転がるほどでした。死を覚悟した証空はせめて最後はと、普段より信仰する不動明王を念じ続けました。痛みと苦しみのため、夢うつつとなった証空は、不動明王が苦しみながら泣いている

姿を拝しました。

すると不思議なことに証空の身体から、痛みや苦しみが遠ざかっていきました。すつかりよくなった証空は、不動明王が身代となつてくださったと気づきました。一方、死病を負い地獄へと連れてこられた不動明王は、かえって地獄の王たちに恭敬され、再び帰ることができたということでした。

この不動明王は「身代不動」の名でも知られ、本来「動かない」はずの不動明王が積極的に働き人々を救う姿は、どこか滑稽でもあり親しみやすくもあります。これは不動明王がより民衆にとつて身近な存在となり、信仰されるようになった証拠といえるのではないでしょうか。



『不動信仰』

田中久夫編 雄山閣出版



今回は、先日六月三日に金倉寺にて行われました施茶の様子のご報告です。

施茶ですので、お菓子も簡単なものを用意するなど格式張ったものではないのですが、お茶碗などの道具はお茶会にも使われるものを使用しました。また、野点<sup>のだて</sup>はしませんでした。お道具の飾り付けをし、参拝の方に見ていただくようにしました。お抹茶と違って滅多に見られないせいか、とても興味深そうに見られているのが印象的でした。当日は、私の所属する分会<sup>ぶんかい</sup>の先生たちにお手伝いいただきま

した。そこで、茶葉の量や温度をきちんと定めて煎れていたところ、独特の風味が。普段使用している茶葉なのですが、煎れ方によって全く違うものになりました。飲まれた参拝の方の多くも、お茶の味に驚かれました。

初めてということもあり、初代宗匠<sup>そうしやう</sup>の、深い慈悲の心、心づくしのお茶、美味しく喫<sup>きう</sup>していただくという心を忘れてはいけな、という気持ちを持つ余裕もなかったほどでした。ただ、参拝途中でほっと一息つけた、珍しくておいしかった、という言葉<sup>ことば</sup>を聞くことができ、また三井古流<sup>いこりゅう</sup>というお煎茶道を知ってもらうことができたことが何よりの成果だと思っています。さて、今回のレシピは、生姜のスコーンです。暑い夏にぴったりの、ちよつとスパイシーなお菓子です。今までにはない味を、ぜひお試しください。



### recipe.11 生姜のスコーン

【準備】オーブンを200度に温め、生姜は皮ごとすりおろしておく

【作り方】1. ボウルに薄力粉とベーキングパウダーをふるい入れ、他の材料を全て加え混ぜ合わせる。2. ひとまとまりになったら、打ち粉をした台の上に置き、麺棒でのぼしては折り畳むを数回繰り返す。3. 約2cm厚に伸ばし、15等分に切り分ける。4. クッキングシートをしいた天板に並べ、10～12分焼く。

※お好みでメープルシロップやはちみつ、ジャムをつけてどうぞ

【材料／15個】

薄力粉…約200g  
ベーキングパウダー…10g  
塩…ひとつまみ  
りんごジュース…80cc  
なたね油…40g  
生姜…20g



浜口育弘（文）  
浜口緑研究所代表。除草剤などで弱っていた「乃木將軍妻返しの松」を独自の研究によって元気な姿に戻す。連絡は、  
TEL & FAX 0877-22-8986

Denny Horimizu（絵）  
生まれ育ちは金蔵寺。金倉寺にて月に1度、EmaFaceを展開。似顔絵、ウェルカムボード他、ご要望があれば承っています。  
<http://www.moridukuri.cho-chin.com/>

—夏本番。金倉寺境内でもあちこちから悲鳴が聞こえます。そんな中涼しげな声も：

冬は堪えるけど、夏の水掛は最高や。お参りおおきになあ。

羨ましいいわ。我々は自分で地下水を汲み上げなあかん。

これも冬を堪えたご褒美やで。そんなん言うてるおまはんも調子良さそうやがな。

しゃねん。カが湧いてきよる。お前さんの水のおこぼれをもろてるからかいな。

ホンマかいな。せやったら感謝してもらわ困るで。おまはん根はどんどん立派になつてワシの所にまでしゃばつてきとらんか？

—境内にはもう一人、小さな箱をもったゴロハチが難しい顔をして歩き回っています。

うくん…なかなかないのお。

—ゴロハチは水掛地藏さんとホルトさんの前まで来ると、ピタリと足を止めました。

ゴロハチ、今日は何企んどんや？メンドイことか？

うわーっ！あつたあつた！

突然声上げたらビックリするわ。何があつたんな？

ここでヨシつと…驚くものがあつたで。あなたの元気の源や。

私の元気の源？水かいな。

イオンやがな。ホンのわずかなところから天へ向かつて立ち昇りよる。通常イオンいうんは空気1ccあたりに1000以下やが、ここは7000でとる。いわゆるパワースポットいうやつちや。ホルトさんがそれを独り占めしよるでそんな大木になつたんや。

それで調子がええんか。いや地藏さんの水やないんか。

それはそれで感謝してもうてええんちゃうか？

おまけにホルトさんは西にヒマラヤスギ、南に鐘楼があつて、根元へ陽が当たらんようになつとる。ええ条件が揃うて見事な根上がりの板状根やがな。まさに寺の宝や。

おいおい、さつきからホルトさんばかり褒めよるけど、ワシがあるからここにお参りくる人やキレイに掃除してくる人があるんで。今日かてみんな集まって楽しそうに話してたがな。

いやいや、みんなここに集まるんは、イオンがあるからやで。やつぱり気持ちかええんやろうなあ。お地藏さんもイオンのおかげを貰とんやで。

それは殺生やわ…

冗談やがな。お地藏さん、トルマリンゆう鉱石知ってるか？電気石ともいうんやが、これもイオンを発生させるといわれとる。どや？お地藏さんもトルマリンで作つてもろうたら？

ゴロハチ、からかうのもええ加減にせえよーっ！

—みなさんもお地藏さんにお参りして、ホルトさんの下でのんびりと過ごしてみてください。

気になる？



その13、烏芻沙摩明王

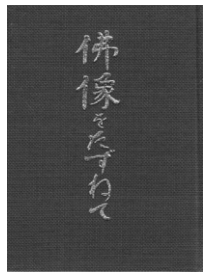
気になる！

四国霊場などをお参りしていると、ときどきトイレに仏さまが祀られていることがあります。そのお姿は忿怒の形相を浮かべた恐ろしいものですが、どうしてトイレに祀られているのでしょうか。

この仏さまの名前は烏芻沙摩明王といい、「ウツチュシユマ」、または「アグニ」と呼ばれる火の神でした。この神さまが仏教に取り入れられ、天台宗では金剛夜叉明王に代わり、不動明王を中心とした五大明王の一尊と考えられるようになりました。烏芻沙摩明王は金剛夜叉明王の

変化身ともいわれ、金剛夜叉明王は心の不浄を食い尽くすのに対し、烏芻沙摩明王は物の不浄を食い尽くすといわれています。このことからトイレの浄化のため、烏芻沙摩明王をトイレに祀るようにになりました。

また特筆すべきは、「烏枢沙摩變成男子法」と呼ばれる胎児を男児に変化させる法で、男児を求めた平安貴族を中心に広く信仰され、祈祷されたそうです。ちなみに近年歌が流行し一躍有名になった「トイレの神さま」ですが、この神さまとは弁財天さまのこと。同じトイレを守護する神仏でも、一方は忿怒姿の恐ろしい明王さま、もう一方は美しい女神さまと大きく異なります。皆さんはどちらの仏さまがお好みですか？



『仏像をたずねて』  
南日義妙編著 文進堂

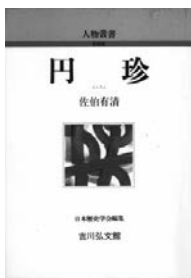


その13、円珍さん⑫

寄りました。その時、弟の善甄より「父の菩提を弔うため、道善寺の規模を大きくしたい」と相談され、円珍さんは唐の青龍寺を模範として伽藍を造営することを提案されました。伽藍は貞観三年（八六一）に完成し、円珍さんもその落慶の齊会に招かれたということです。

忙しくも充実した日々を過ごしていた円珍さんでしたが、貞観十年四月に第四代天台座主安恵和尚が入滅し、六月三日、円珍さんを天台座主に勅任する辞令が届けられました。この時円珍さんは五十五歳であり、若きリーダーの誕生に、比叡山の僧侶たちは鐘を撞いて喜び、講堂を集まって円珍さんの座主勅任を拝賀しました。

舞台を金倉寺に移しましたよ。円珍さんの父宅成公は道善寺（後の金倉寺）をなんとか官寺にしたいと奏上したところ、仁寿元年（八五二）にその勅許がくだされました。なんとか志を果たした宅成は、その翌年に九十八歳で逝去されました。この時、唐の越州開元寺にいた円珍さんの元に、訶利帝母さまと金色不動さまが現れ、二尊の力で円珍さんと宅成公は永遠の別れを交わすことができたといわれています。唐より帰朝した円珍さんは、京へ向かう道中で道善寺に立ち



『人物叢書 円珍』  
佐伯有清 吉川弘文館

# 宗祖智証大師生誕 一二〇〇年慶讃大法会

天台寺門宗の開祖である智証大師さまが誕生されたのは、弘仁五年（八一四）三月二十五日、讃岐国金倉郷（香川県善通寺市金蔵寺町）のことでした。

来る平成二十六年（二〇一四）には、智証大師生誕一二〇〇年を迎え、この節目に立ちあえる喜びを皆さまと共有したいと、金倉寺では一年前にあたる平成二十五年三月二十三（土）〜二十五日（月）の三箇日、記念法要を行います。是非皆さまのご参列いただきますよう、お願ひ申し上げます。



## 円珍・乃木まつり

九月八日（土）・九日（日）の両日、恒例の「円珍・乃木まつり」が開催されます。金倉寺では次の行事を予定しています。

八日 乃木將軍遺品公開（客殿）

万灯会（本堂）

大般若くぐり（本堂前）

九日 採燈大護摩修行（境内）

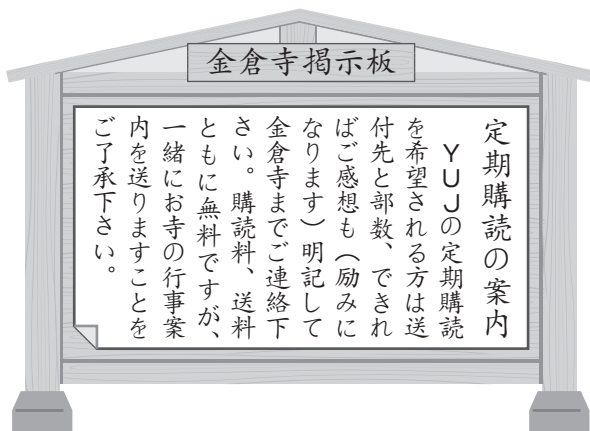
大餅なげ大会（本堂前）

「乃木將軍遺品公開」は、八日午前十時〜午後四時まで、乃木將軍が生活されていた客殿にて、遺品を展示公開いたします。

「万灯会（先祖供養法要）」は、八日午後六時半より八時ころまで本堂にて、ご先祖さまを灯明によって供養し、一年間の無病息災を願います。薄暗くなった境内を数多くの灯明が彩り、風に揺らめく様は、なんとも幻想的です。また同時刻本堂前に

て「大般若くぐり」も行います。これは六百巻ある大般若経の下をくぐって心願成就をお願いするもので、地元では「大般若はん」ともいわれています。

「採燈大護摩修行」は、九日午後一時半より境内にて、皆さまの心願成就を願う大護摩を焚き上げます。終了後は一般の方も参加できる火生三昧（火渡り修行）を行います。料金は三〇〇円です。どうぞ皆さまのご参加をお待ちしております。



### ■編集後記

哲済 上の記事でも紹介しましたが、来年三月

二十三〜二十五日に金倉寺で智証大師慶讃大法要を行います。YUJもこの流れに乗ろうと今号より第十六号までの三号に渡り、智証

大師さまを中心とした特集を組むことになりました。次号は「山岳修験」の予定です。まだ企画段階のため、変更になる可能性もあります。

哲済 今号も一年前からの企画を捨てたりと二転三転したからね。

香祥 それは内容を忘れたんやなかつたつけ？

平成二十四年七月三十日発行  
編集・発行 金倉寺

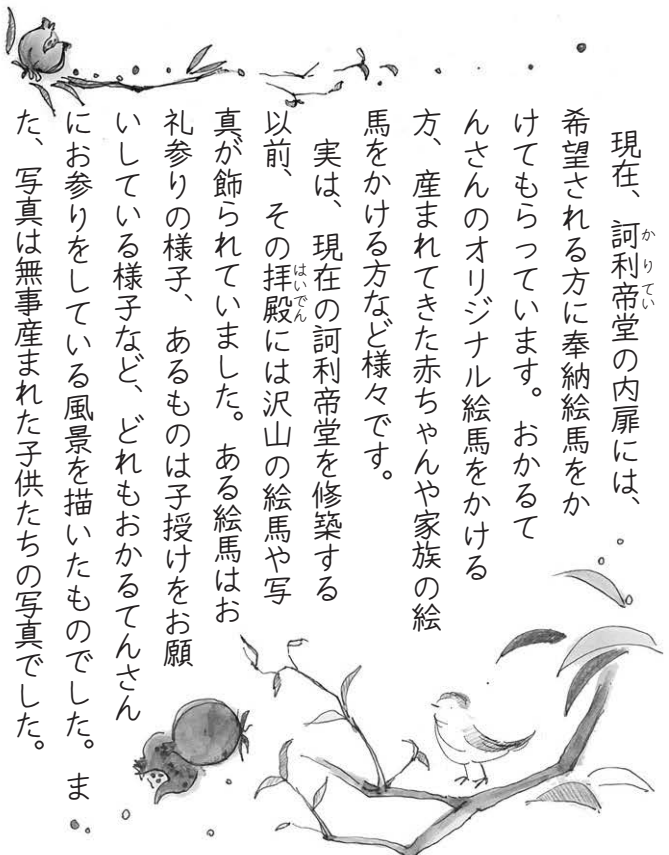
発行人 村上法照  
お問い合わせは

〒七六五-〇〇三二

香川県善通寺市金蔵寺町一六〇  
TEL〇八七七一六二一〇八四五

yuj@kagawa-konzouji.or.jp

# おかるさん



現在、訶利帝堂の内扉には、希望される方に奉納絵馬をかけてもらっています。おかるてんさんのオリジナル絵馬をかける方、産まれてきた赤ちゃんや家族の絵馬をかける方など様々です。

実は、現在の訶利帝堂を修築する以前、その拝殿には沢山の絵馬や写真が飾られていました。ある絵馬はお礼参りの様子、あるものは子授けをお願いしている様子など、どれもおかるてんさんにお参りをしていく風景を描いたものでした。また、写真は無事産まれた子供たちの写真でした。

そこで、以前の参拝者が残したように、現代のお参りの方にも、金倉寺に何か残してもらえたらと、奉納絵馬を思いつきました。

修築後、都合により昔の絵馬は外されていますが、ある取材をしたが、ある取材を機に、久しぶりに取り出して拝殿にかけてあります。昔の絵馬と現在の絵馬、見比べてみるのも興味深いものです。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8 月珍乃木祭 先祖供養
9 月珍乃木祭 探燈護摩	10 戌の日	11	12	13	14	15
16 訶利帝母縁日	17	18	19	20	21	22 戌の日
23 30	24	25	26	27	28	29

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 戌の日	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 訶利帝母縁日 戌の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 智証大師御祥忌
28 護摩供日	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 石土八幡修行	7
8	9	10	11	12 戌の日	13	14
15 訶利帝母縁日	16	17	18	19	20	21
22	23 戌の日	24	25	26	27	28 護摩供
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5 戌の日	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16 訶利帝母縁日	17 戌の日	18
19	20	21	22	23 北歳縁日法要	24	25
26	27 護摩供 灯籠供養	28 戌の日	29	30	31	

訶利帝母縁日 毎月16日午前10時から午後2時まで訶利帝堂内に参拝できます

不動尊護摩供 毎月28日午前11時から本堂にて護摩祈願を行います(9月はお休み)

着帯戌の日 戌の日の午前11時と午後2時より安産祈願を行います(行事などによる変更あり)

※ 10月16日(火)の安産祈願は午後3時に変更します  
10月28日(日)の安産祈願は午後2時のみ行います